



子供たちでにぎやかな比内児童館

楓恋ちゃんのV字バランス。すばらしい!



「私たち仲良い3人よ。児童館へ行こう?」と志奈ちゃん(左)、美樹ちゃん(中)、楓恋ちゃん(右)

気が取り直し、再び横町へ軌道修正。お客が空いた。理容小林を訪ねました。小林忠輔さん(横町)にインタビュー。昔の横町は「多いときは食堂が、5、6軒はあったもんです」と

もう十分です。ハイ!」。

オ。「3人は仲が良いんだね」。「そうよ。さっきもちよっとけんかしたけど、すぐに仲良くなったもんネ」と「ニコニコ」の美樹ちゃん。「こんなことできるんだよ」。なんと楓恋ちゃん、いきなりのV字バランス。ワオッ、すごい! 10点0! 「イナバウアもやってみたら」。エッ、やるの? 楓恋ちゃんだけできると2人まで「私はこれができるよ」と逆上がりするやら、前方転回するやら、まるで中国雑技団?! 慌てふためく私を今度は「児童館へ行こうよ」と連れて行ってくれた先は、比内児童館。たくさん子供たちが外で走り回っていました。「先生に会っていい?」。「いや、

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登壇者数 149人

84,148人
(H18.4.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。

往時を振り返っていただきました。忠輔さんは、若いころ、東京で床屋をしていて、昭和26年からここで床屋をしているそうです。御年85歳の現役は立派! 娘さん家族との暮らしですが、昨年12月に長年連れ添った奥さんに先立たれました。近くにスーパーなどができてから、個人の商店が消えていったと言います。心配事は? 「扇田病院のこれからのことだな」。確かにこの地域の不安の一つですよね。ここ横町はお店が多く、ご近所付き合いの長い、温かみのある人たちの町内という印象でした。どことなく映画に出てくる下町のような雰囲気を感じるの、お寺が多いことも一因なのでしょう。やさしい人たちと春の風、ほんわかした気分にさせていただきました。では、次回もあつてグッド!

「趣味は友人との囲碁」と忠輔さん。実力はなんと3段!

